

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題Triton(R) X-100 のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験試験番号

EDR00003

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： Triton(R) X-100
- 2) 暴露方式： 半止水式 (48 時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21 日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 1.0, 2.2, 4.6, 10 および 22 mg/L、公比 ; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10 頭/試験区 (1 頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法： HPLC 法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質濃度の測定値で設定値の±20%を超えるものがなかったため、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

### 2) 21日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度(LC50) : 13 mg/L (95%信頼区間 : 10~17 mg/L)

50%繁殖阻害濃度(EC50) : 11 mg/L (95%信頼区間 : 10~12 mg/L)

最大無作用濃度(NOEC) : 4.6 mg/L

最小作用濃度(LOEC) : 10 mg/L